

代表取締役
蔭山 寿一

浜通り復興に 向けたメッセージ

福島県産材の新たな需要開発として、浪江町発の大断面集成材を全国の街づくりに活用いただく取り組みを行って参ります。

都市部の木造化に向けた県産スギを活かす 異樹種混合・高強度大断面集成材の開発

都市部の中高層ビルにおける木材活用の 推進・普及拡大へ貢献

国内で最も多く生育する「スギ」材を都市部の木造施設へ利用促進すべく、中高層木造で必要とされる性能を有したスギの異樹種混合・高強度集成材の開発を行います。

開発背景

世界的な「カーボンニュートラル社会・SDGsへの貢献」の潮流により、国内でも大手ゼネコンが数十におよぶ高層木造ビルの計画が進んでいます。一方で、「スギ」材を建築材として利用する際に、低強度である点がネックとなります。そこでスギと他の材を混合接着することで高強度集成材としてスギを高付加価値化し活用機会を拡大します。

実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度（2023年度）
販売製品・サービス名	【ストロング・メガ・ラム】
成果物（最終年度）	【ストロング・メガ・ラム】のJAS認証や部材性能評価
創出される経済効果	建築物への木材利用は、森林サイクルの循環を促し、林業や木材産業、運搬業、建設業など地域産業の経済活性化と雇用創出を生むものです。

開発のポイント

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の集成材JAS認証制度を発展させた構成シミュレーション ・集成材ブロックの二次接着技術 ・JAS認証や建築設計可能な性能評価のためのデータ集積
開発のポイント	従来のJAS認証制度では定義されていなかった構成方法により、経済的かつ安定調達可能な構成による特大断面集成材の生産を可能にします。

実施期間	2022～2023年
実用化開発場所	浪江町
連携自治体	浪江町

浜通り地域への経済波及効果

地域材の新たな需要開発として、まちの建築物への木材普及促進により、森林サイクルの循環を促し、林業、木材産業、運搬業、建設業など地域産業の再生復興に貢献致します。

これまでに得られた成果

木質材料の専門家と取り組んだシミュレーションと実証試験によりスギ材を活用しながら、建築材利用で高強度材とされる外国産材のベイマツと同等の強度E120を実現できる集成材構成を確立致しました。浪江町と共に福島県産材スギの更なる利活用促進を図って参ります。

株式会社ウッドコア

福島県双葉郡浪江町大字棚塩字赤坂1-1
☎ 024-944-7550（担当：相澤貴宏）
✉ aizawa@toju.co.jp

投資規模	1～5億円
開発人数	10名未満
販売時期	令和5年度（2023年度）
販売形態	<ul style="list-style-type: none"> ・【ストロング・メガ・ラム】として部材販売 ・木造建築の計画段階における設計折込
販売見込先	大手ゼネコン、地場建設会社・工務店、建材メーカー
協業希望先	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教授、専門家 ・大手ゼネコンや建材メーカー

